

22

字形：内外の組み立て方のポイント④

宮澤 みやざわ

正明 まさあき

う・とりまく』などの意味)を取り上げます。

■二方向を囲むによう



二方向を囲むには、しんによる（巡）、えんによる（苑）、そうによる（走）、きによる（鬼）、ばくによる（麦）などがあります。また、ようとして部首にはなっていない「題」もようにと同じ構造の漢字です（仮に、「ぜによる（是）」ということもあります）。中でも、しんによるの漢字は、常用漢字では五〇字、小学校学年別漢字配当表では二五字を数え、「道・遠・近」など、日常的に使用頻度が高い漢字が多くあります。

払いの方向や筆使いが不適切です。

に二画目の方向に不適切な書き方が目立つようです。

を図解して示しましょう。

- 線に相当する。）



文字の中心

文字の中心

- 乗る部分の大きさに注意する。



- ③ しんにようの一画目の点の位置は、乗る部分の頭部の点画の方向によってある程度決定する。頭部が横画の場合（辺・返など）はそれより上に、斜めの点画の場合（送・近など）は同じ高さに、縦画の場合（速・遠など）はそれより下にそれぞれ位置づける。

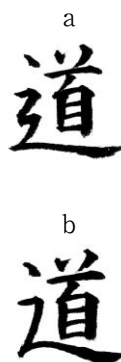
られるのも注意しなくてはなりません。

やすい不適切なしんにようの字形を次に示しましょう。

〈しんのように乗る部分の位置が不適切な例〉



〈しんにようの二画目の方向や形が不適切な例〉



す。bは、明朝体のデザインと同じ形に書かれています。

〈しんにようの三画目の方向や筆使いが不適切な例〉



横画の場合

斜めの画の場合

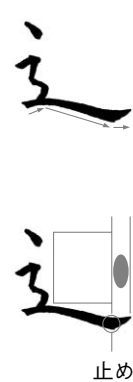
縦画の場合



- るので注意する。



- で止めてから払う。



止め

しんによりの組み立て方が理解できれば、ほかのようも同じ要領で組み立てることで字形が整います。なお、しんによろ、えんによろは後から書くによろですが、画数の多いそろによろ、きによろなどは、先に書きます。これらの筆順の誤りも多く見られるので、グループ別にして覚えたいものです。